

「核不拡散体制の成立と安全保障
政策の再定義」プロジェクト
第20回公開研究会
2022年12月10日

中距離核戦力（INF）交渉と日本、 1979-1983年

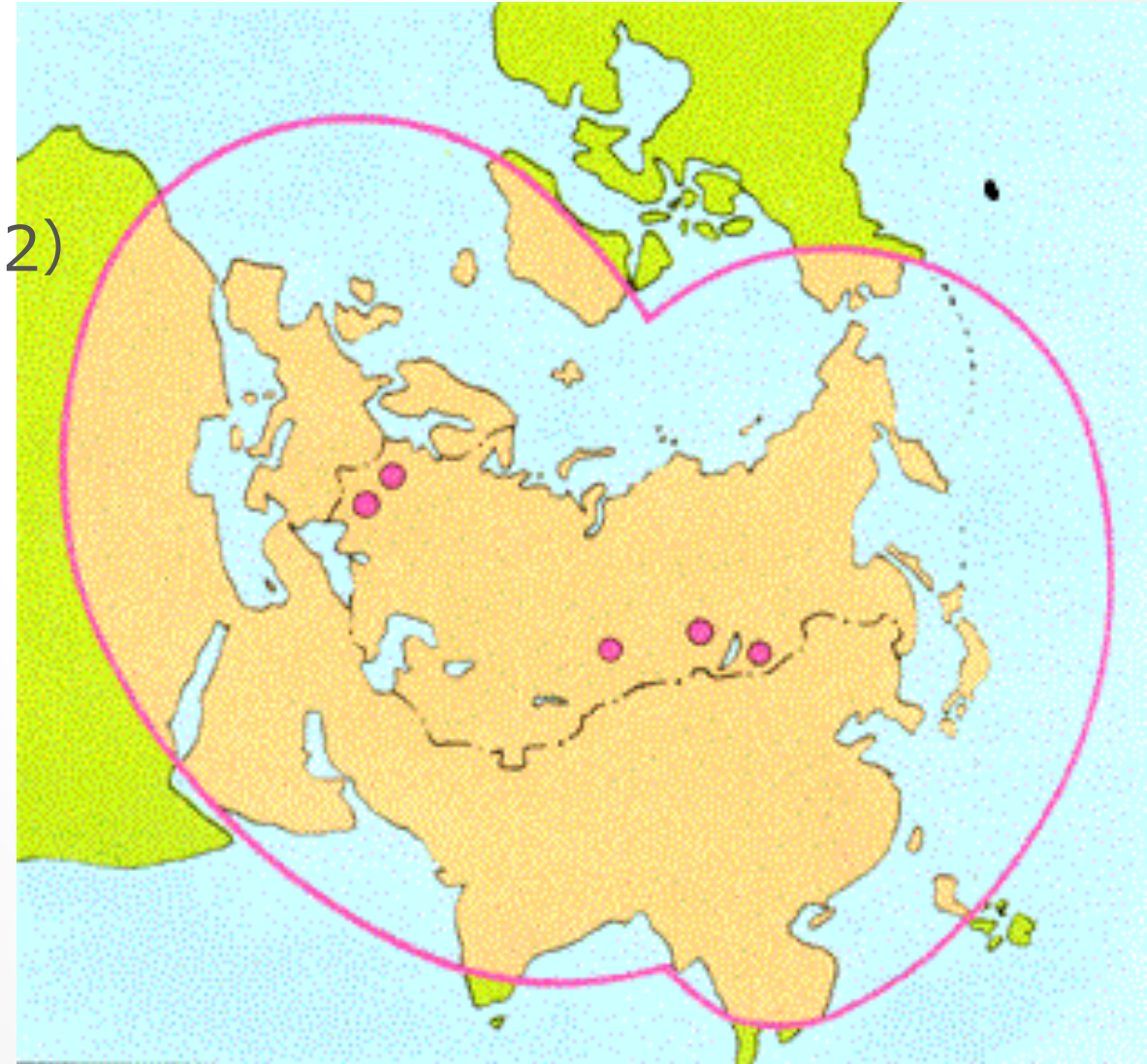
吉田 真吾

近畿大学

図：SS-20の配備地と射程範囲

冷戦史の中のINF交渉

- ・ SS-20とNATO「二重決定」(1979.12)
- ・ 転換期としてのINF交渉
 - (1) 第二次冷戦の文脈
 - 東西間の脅しと甘言
 - (2) 冷戦終結への流れ
 - 東西対話と相互信頼
 - INF条約(1987)
- M. グリットマン(交渉副代表・代表)
『冷戦最後の戦い』

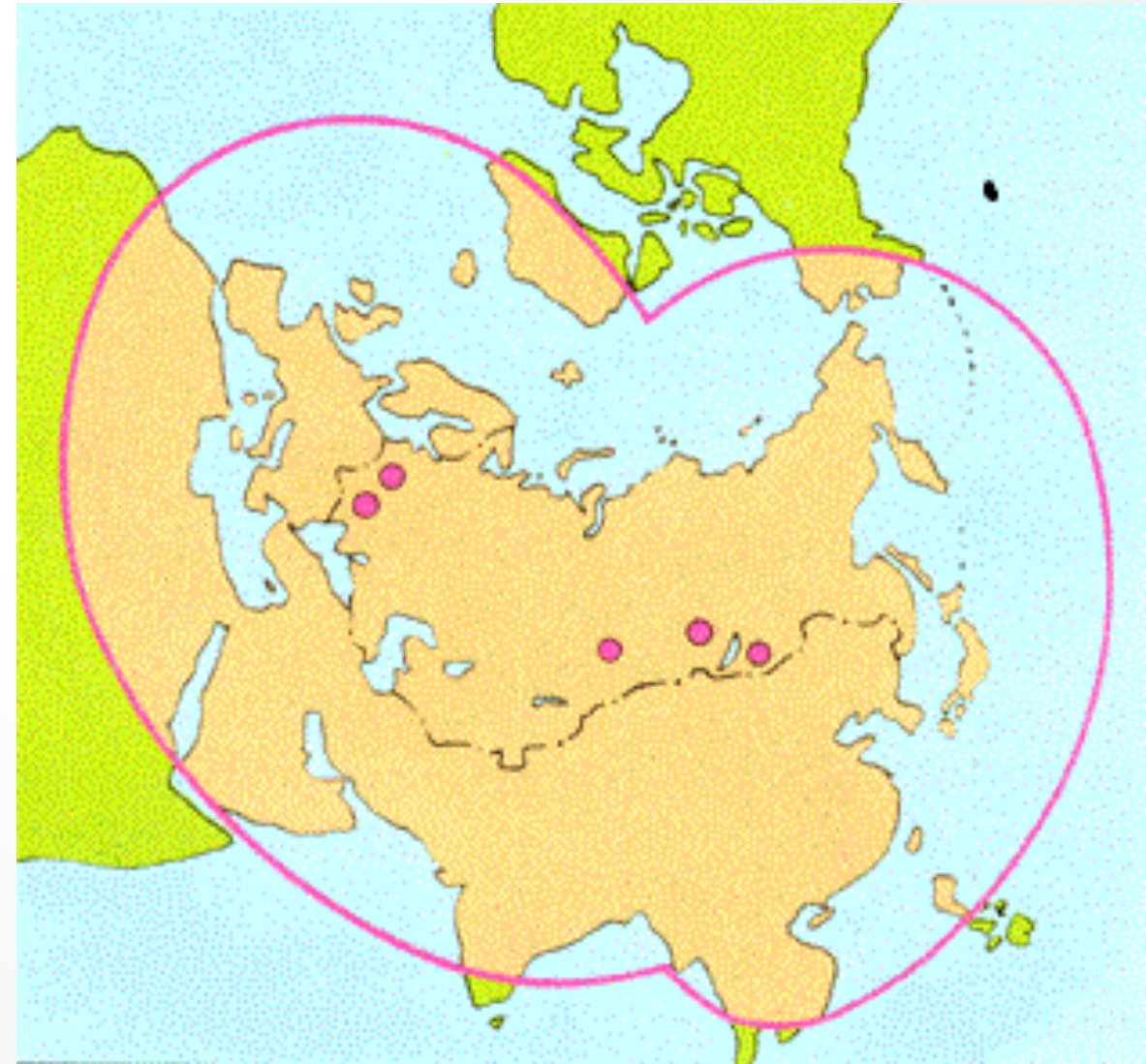


出典：防衛庁『防衛白書』1987年度版
<http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_data/1987/w1987_01016.html>

図：SS-20の配備地と射程範囲

INF交渉と日本

- グリットマン：「米国、欧州の同盟国、ソ連の関係がINF問題の中核であったが、米国、アジアの同盟国、中国、ソ連の関係も、その過程の進展や結果において重要な役割を演じた」
- 補佐官：中韓台の関与 < 日の関与
- 日本：「冷戦最後の戦い」のもう一つの戦線における主要な「参戦国」



出典：防衛庁『防衛白書』1987年度版
<http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_data/1987/w1987_01016.html>

問い

- (1) なぜ、日本はINF交渉に関与？
- (2) どのように関与？
- (3) 交渉においていかなる役割？

先行研究

- 米欧：欧州の平和運動、NATO内政治、米ソの政策決定過程と相互作用
- 日本：一次史料の開示前 and/or ウィリアムズバーグ・サミットへの関心

→上記問いは未解明

本稿

- ・ 史料：日、米、欧、ソ
- ・ 対象時期：1979年の交渉準備開始 ～ 1983年の交渉決裂

→第二次冷戦の文脈

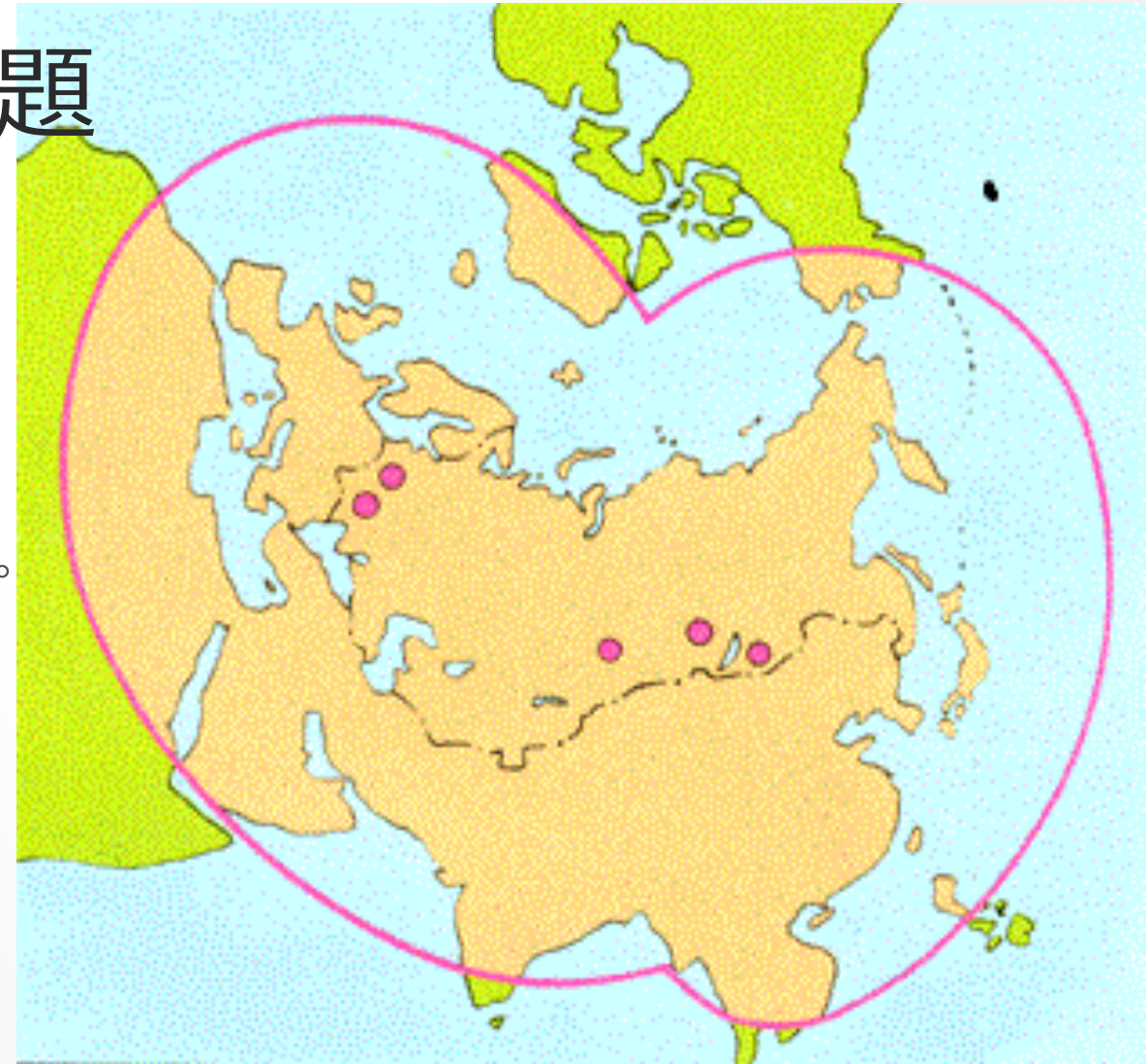
(1) 軍拡競争

(2) プロパガンダ戦争

図：SS-20の配備地と射程範囲

前提としてのTNF配備問題

- ソ連のSS-20配備（1976～）
→目的：米欧離間、米FBSの相殺など
- 米国のTNF西欧配備決定（1979.12）
∴ 西欧の不安：エスカレーション・ギャップ
- 日本：全般的な東西核バランスの重視
→懸念：西太平洋での米FBSの相殺
→米国の攻撃能力の低下、
全般的核バランスの悪化
→漸進的な脅威認識の高まり（1980～）



出典：防衛庁『防衛白書』1987年度版
<http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_data/1987/w1987_01016.html>

前提としてのTNF配備問題

- ・ SS-20の脅威相殺と核バランス回復の必要性

→日本の選択肢

(1) TNFの日本配備

→軍事的不要性、非核三原則への抵触

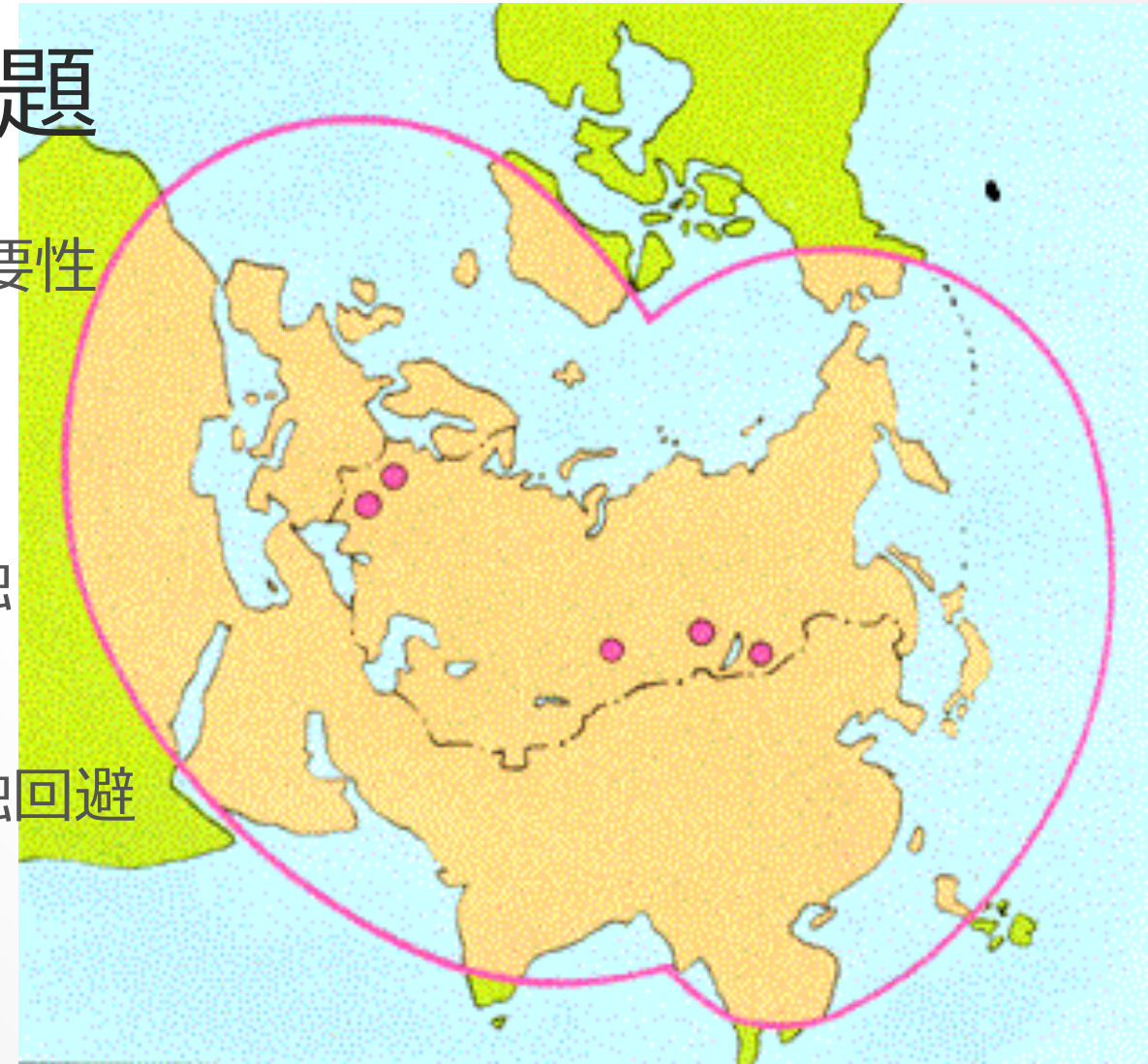
(2) 海空TNFの日本周辺への配備

→軍事的有効性、非核三原則への抵触回避

(3) 米ソTNF交渉

→取引材料としての西欧TNF

→西太平洋のFBSの取引厳禁



図：SS-20の配備地と射程範囲

議論①

・なぜ、日本はINF交渉に関与？

(1) 軍事面での懸念 (1979～)

① FBSの規制

② SS-20のアジア移転

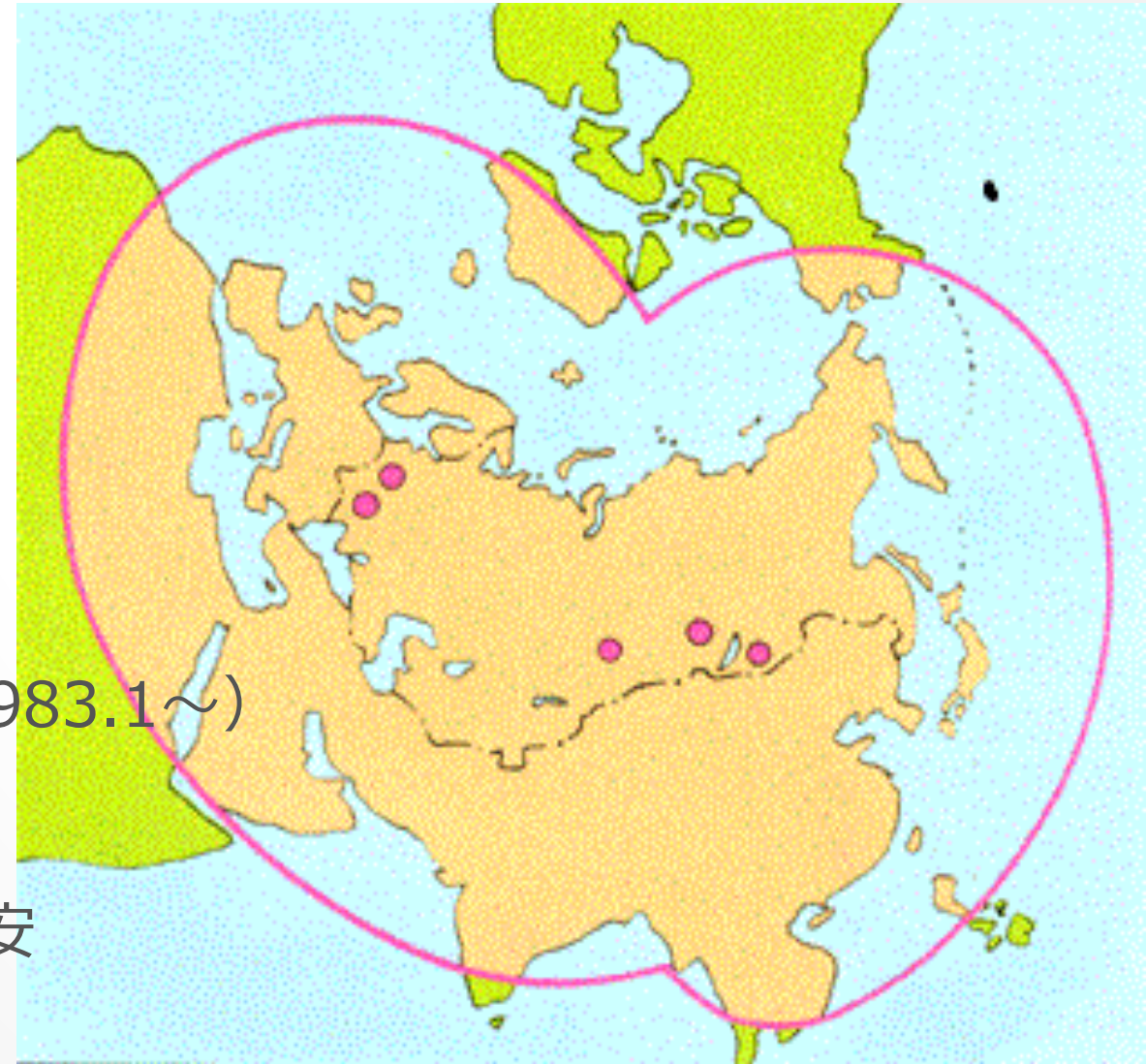
(2) 政治的 (プロパガンダへの) 懸念 (1983.1～)

① 世論の欧米への反感

② 世論の反核感情と「巻き込まれ」の不安

③ 日欧・日米離間

→欧州と「比較可能な」アジアへの配慮の要請



出典：防衛庁『防衛白書』1987年度版
<http://www.clearing.mod.go.jp/hakusho_data/1987/w1987_01016.html>

議論②

- どのように関与？
 - (1) 米国との二国間協議の緊密化
 - (2) 西欧諸国との二国間安全保障協議の本格化
 - (3) 西側の多国間協議
esp. ウィリアムズバーグ・サミット
- ※中国との協議

写真：National Archive Catalogue
<<https://catalog.archives.gov/id/75852857>>



「政治声明」：「サミット参加国は、軍備削減に向けての努力において結束しており、引続き徹底した緊密な協議を続けるであろう。我々サミット参加国の安全は不可分であり、グローバルな観点から取り組ま〔れ〕なければならない。我々の国内世論に影響を与えることによって真剣な交渉を回避しようとする試みは、失敗するであろう」

議論③

- ・ 日本は交渉においていかなる役割を有した？

= INF交渉の複雑化：米ソ欧 + 米ソ日 + 米欧日

- (1) 西欧の欧州優先の姿勢 vs. 日本のアジア配慮の要求
- (2) 仲介者としての米国
- (3) ソ連による日米欧分断の道具としてのINF交渉
- (4) ソ連の政治的脅威による西側の結束

含意

- 第二次冷戦の特性：ソ連の西側分断策 → 日米欧の同盟・疑似同盟政治
- 冷戦終結への流れ？：日本含む西側の結束 → ソ連の軟化 → 東西対話、相互信頼